

国営讃岐まんのう公園の基本情報

基本情報

名称	国営讃岐まんのう公園
種別	イ号国営公園
所在地	香川県仲多度郡まんのう町吉野4243-12
事業着手年度	昭和59年度
供用開始年度	平成10年度
公園管理者	四国地方整備局
敷地面積	約350ha (対象敷地は令和5年4月現在の供用区域の面積)
入園者数	47.3万人(令和4年度)
概要	香川県仲多度郡まんのう町に位置し、我が国最大級のため池である「満濃池」に接する、四国で唯一の国営公園

沿革

時期	沿革
昭和59年	事業採択
昭和61年	都市計画決定
昭和62年	工事着手
平成10年	中央広場ゾーン、宿泊ゾーン等の第一期開園(供用面積約80ha)
平成12年	北口園路・総合センターの追加開園(供用面積約96ha)
平成14年	自然生態園の追加開園(供用面積約111ha)
平成17年	湖畔ゾーンの満濃池展望遊歩道の追加開園(供用面積約112ha)
平成18年	湖畔通り線園路の追加開園(供用面積約114ha)
平成20年	湖畔の森開園で湖畔ゾーン一帯の追加開園(供用面積約154ha)
平成20年	健康ゾーンの全天候型多目的運動場(ドラムドーム)・芝生広場の追加開園(供用面積約158ha)
平成23年	果樹園やドッグラン等の健康ゾーン一帯を追加開園(供用面積約198ha)
平成25年	「さぬきの森(供用面積約152ha)」が追加開園し、全面開園(350ha)

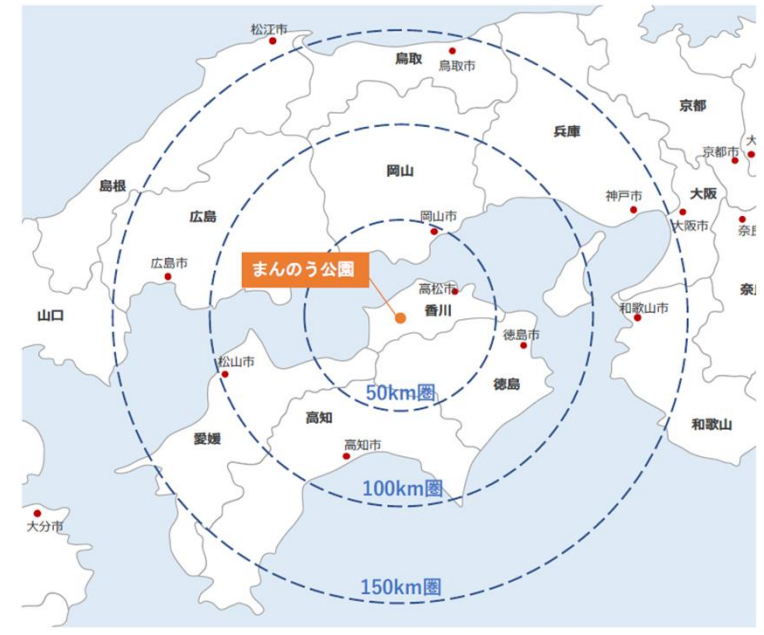


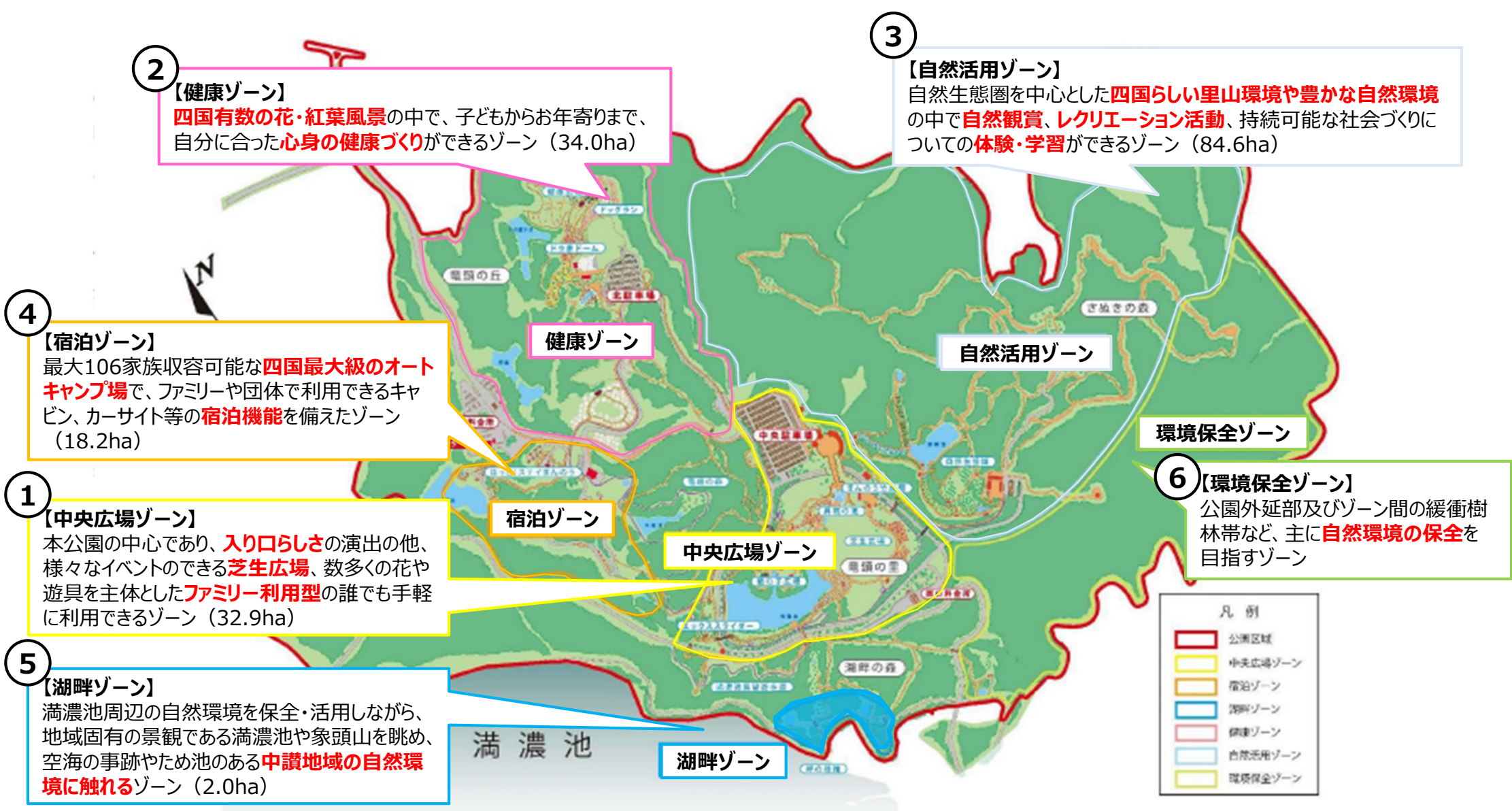
図:公園の位置(広域)



図:公園の位置(周辺拡大)

国営讃岐まんのう公園内のエリア

本公園は、基本方針に基づき、6つのゾーン（①中央広場ゾーン、②健康ゾーン、③自然活用ゾーン、④宿泊ゾーン、⑤湖畔ゾーン、⑥環境保全ゾーン）が設定されている。



国営讃岐まんのう公園の基本理念・基本テーマ・基本方針

本公園は、阿讃山地の北麓、弘法大師により修築されたと云われる満濃池に隣接した丘陵地に位置する四国唯一の国営公園であり、以下の基本理念や基本テーマ、基本方針のもとに総合的に整備、管理、運営を進めている。

基本理念

- 本公園は、満濃池とその周辺の豊かな自然、そして空海を生んだ四国の文化的土壌、里山の風景・文化を活かし、四国地域の住民をはじめとした来訪者に自然のなかでのレクリエーション活動等を通じて成長に寄与することを目標としている

基本テーマ

- 「人間との語り、自然・宇宙とのふれあい」

基本方針

- ① 子どもから大人まで、四季を通じて多様なレクリエーション活動が行える公園とする
- ② 計画地の特性や地域の文化、歴史、風土等を活かした四国らしい公園とする
- ③ 四国地域の人々の日帰り利用を主体とするが、滞在型の利用や四国を訪れる観光客も利用できる公園とする
- ④ 公園の豊かな自然とのふれあいや、様々なレクリエーション活動、イベントを通じて豊かな人間形成に役立つ公園とする